

中学校夏季総体
八中男子バスケット37年ぶりV
峰中女子テニス部が連覇

6月15日から16日にかけて第67回山本郡中学校夏季総体が開催されました。
同15日は、峰浜中学校の女子ソフトテニス部が昨年に引き続き、団体戦で優勝したほか、同16日には、八森中学校の男子バスケットボール部が37年振りに優勝に輝きました。
また、同15日に行われた能代山本夏季総体陸上競技大会では、走り高跳びで高田省吾君（峰浜中3年）が400m走では皆川友郎君（同）が1位となったほか、総合で峰浜中学校男子が優勝を飾りました。
全県大会での更なる活躍を期待しております。



優勝した女子テニス部の皆さん

大久保岱地区で土砂災害・
全国統一防災訓練を実施



講習会を聴講する地区住民

6月2日、大久保岱地区で土砂災害・全国統一防災訓練が行われました。

この訓練は県主催によるもので、災害発生の危険性が高まる梅雨期に備え、土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から実施されており、県内では7箇所で一斉に実施されました。
避難訓練では防災無線により避難勧告を発令し、住民は避難場所の大久保岱生活改善センターへすみやかに避難しました。
その後、住民を対象に講習会を開催したほか、町消防団第4分団が土のうを積み上げる訓練を行いました。

園児による
サツマイモ苗植え体験

6月3日に峰浜地区の各子ども園、同6日には八森地区の各子ども園の園児によるサツマイモの苗植え体験がふれあい農園で行われました。
同体験は、園児たちに土と触れ合い、収穫の楽しみや食べる喜びを体験してもらうため、毎年行っています。
園児たちは前もって整備していた畝に、サツマイモの苗を1本1本丁寧に、「おいしいおイモができますように」、「大きなおイモができますように」と願いを込めて植えていました。
秋の収穫が楽しみです。



願いを込めて丁寧に植えました

水沢小学校児童が
「人権の花」を植栽



「人権の花」と共に「育てよう思いやりのこころ」

6月18日、水沢小学校児童による「人権の花」の植栽が行われました。この「人権の花」は、法務省が提唱する「人権の花運動」で、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、やさしい思いやりの心を体得させ人権思想をはぐくむことを目的としたものです。

この日は、全校児童がマリーゴールドやサルビアなどの苗をプランターに植栽しました。
今回植栽された「人権の花」は、朝の水やりや草取りなど大切に育て、特別養護老人ホームや駐在所、郵便局などにプレゼントする予定です。

埴川小学校の児童がパレード
鐘馗様づくりも体験

6月4日、埴川小学校の校庭で3年生による交通安全鐘馗様づくり体験が行われました。交通安全協会埴川支部と大信田老人クラブの指導のもと、児童らは手や足などをワラで作りました。完成した鐘馗様は学校前の横断歩道脇に設置され、児童の安全を守ります。

また、午後からは4年生から6年生による交通安全パレードが行われました。今年は大信田・埴・仲村・横内地区とJA八峰支店前でヨサコイソーランを披露し、地域住民に交通安全を呼びかけました。
飲酒運転撲滅はもちろん安全運転やシートベルト着用を守りましょう。



しょうき様見てるよ君の交通ルール

八森ブルーウェーブ
優勝旗を手に来庁



賞状を手にする山内優真君と優勝旗を掲げる日沼啓斗君

第33回全日本学童軟式野球秋田県大会山本郡予選大会において、統合後初優勝を飾った八森ブルーウェーブが6月13日、優勝報告に訪れました。

この日は、キャプテンの山内優真君と副キャプテンの日沼啓斗君が、優勝旗を手に来庁し、予選大会の優勝報告と全県大会への抱負を話してくれました。

なお、同29日から始まった全県大会で、八森ブルーウェーブは同30日に横手市代表の朝倉と対戦し、3対2とサヨナラ勝ちで初戦を突破し、ベスト8に進出しています。八森ブルーウェーブの皆さん、優勝目指して思う存分頑張ってください。

ラベンダー祭りを
開催しました

6月22日から7月7日にかけて、ポンポコ山公園において、ラベンダー祭りが開催され、町内外の方々がラベンダーの刈り取りを体験しました。

同29日は、子ども園児による遊戯や園内の散策路などを利用したチャレンジ企画「八峰の宝を探せ!!」が行われ、参加者たちは町内宿泊施設の補助券や八峰町産の特産品などを手に入れました。同30日には、「はたらく車大集合!!」と題した特別企画が行われ、パトカーや白バイ、救急車、除雪ドーザ、高所作業車などの試乗体験も行われるなど大勢の親子連れが訪れ、楽しい一日を過ごしていました。



普段は乗ることがないはたらく車を試乗体験

3名の国家公務員が
町で地方自治体実地体験



「笑顔で手を振り隊」も体験

6月10日から14日にかけて、3名の国家公務員が八峰町へ地方自治体実地体験のため訪れました。

この実地研修は、採用後間もない国家公務員が国民全体の奉仕者としての志を高めるために行われているもので、法務省と厚生労働省、国土交通省からそれぞれ1名が研修生として来町しました。

初日は町の概況説明を受けたあと施設見学し、翌日からはあきた白神体験センターの業務や建設・農林の現場業務、税務などの窓口業務を体験し、最終日には、議会の一般質問を傍聴しました。

研修生からは、「町民との距離の近さが魅力的」、「小さな町ならではのきめ細かな行政サービスをみることできた」などの感想をいただきました。今後のご活躍を期待しております。